

立 教 經濟學研究

第十八卷 第四号

昭和四十年二月

論 文

ドラッカー経営思想の研究……………三戸公
中小企業の統一原価計算制度の

普及運動について(三)……………敷田禮二

「資本としての貨幣」について(完)……………広田純

——宇野・鈴木両氏の利子論の検討——

いわゆる「構造改革論」の理論的性格(七)……………山本二三丸

初期アングロ・サクソン国家における自由民……………田中正義

——前封建国家の歴史的性格——その二——

十三世紀イングランド北部における

世俗領の研究(三)……………鵜川馨

——Isabella de Foribus の Holderness 領——

石門心学の意義と限界……………逆井孝仁

——その通俗道德への転落について——

一九四六年四月東部ドイツにおけるドイツ共産党と

ドイツ社会民主党との合同について……………上杉重二郎

研 究

两大戦間における

ドイツ独占資本の再編と経済政策(上)……………岡本友孝

——国家独占資本主義成立過程の一局面——